

データを安全に、手軽に、高い精度でAIへ渡すデータ基盤

AI Readyデータ基盤

AIエージェントの活用を前提とした、データ活用の飛躍的進化を支える基盤をご提供

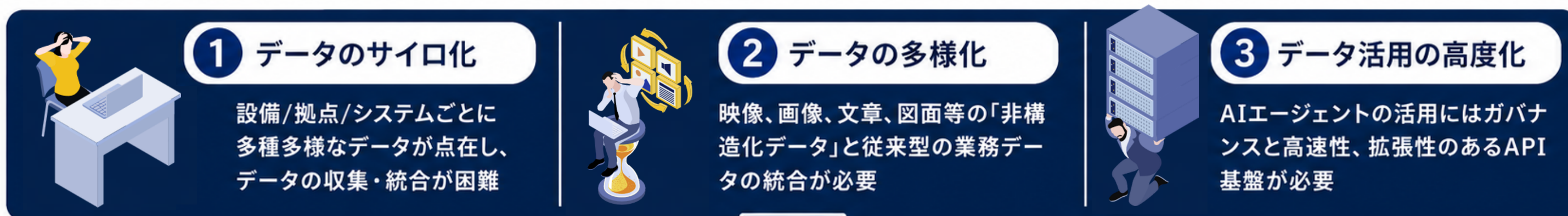
AI活用の必須要件はAIに価値あるデータを提供すること。
その実現に向けたデータ基盤の構築が必要です。

AI活用を前提としたデータ基盤構築の必須要件

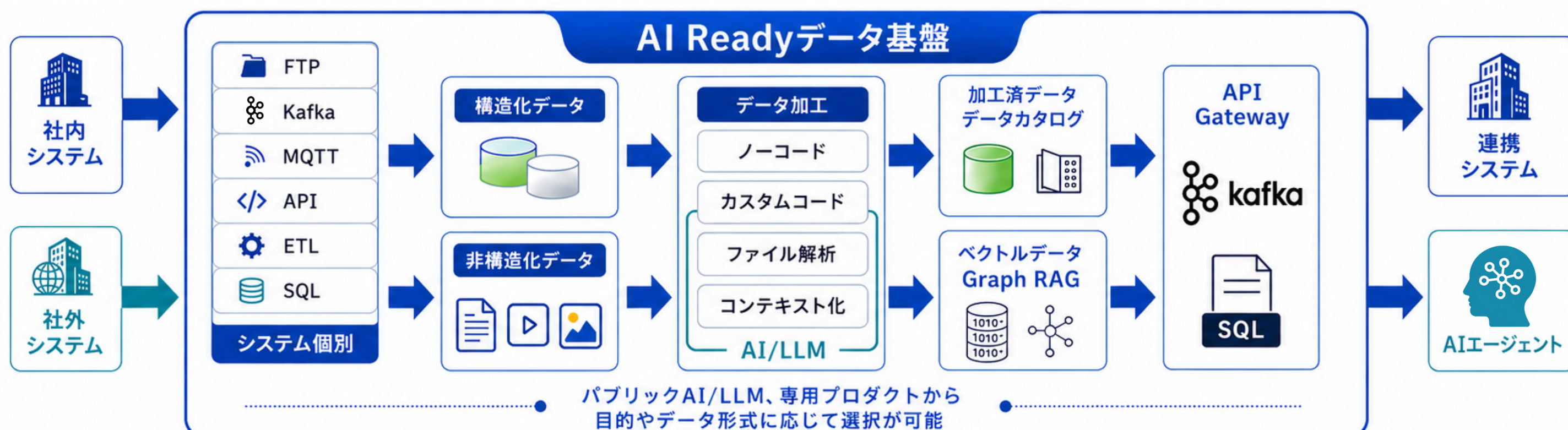


では、どのように実現するか？

SCSKの『AI Readyデータ基盤』が、データの収集から加工・連携に至るまで、各フェーズの課題を解決します。



SCSKは、AIエージェント時代のデータ活用に必要な機能をフルラインナップで提供します

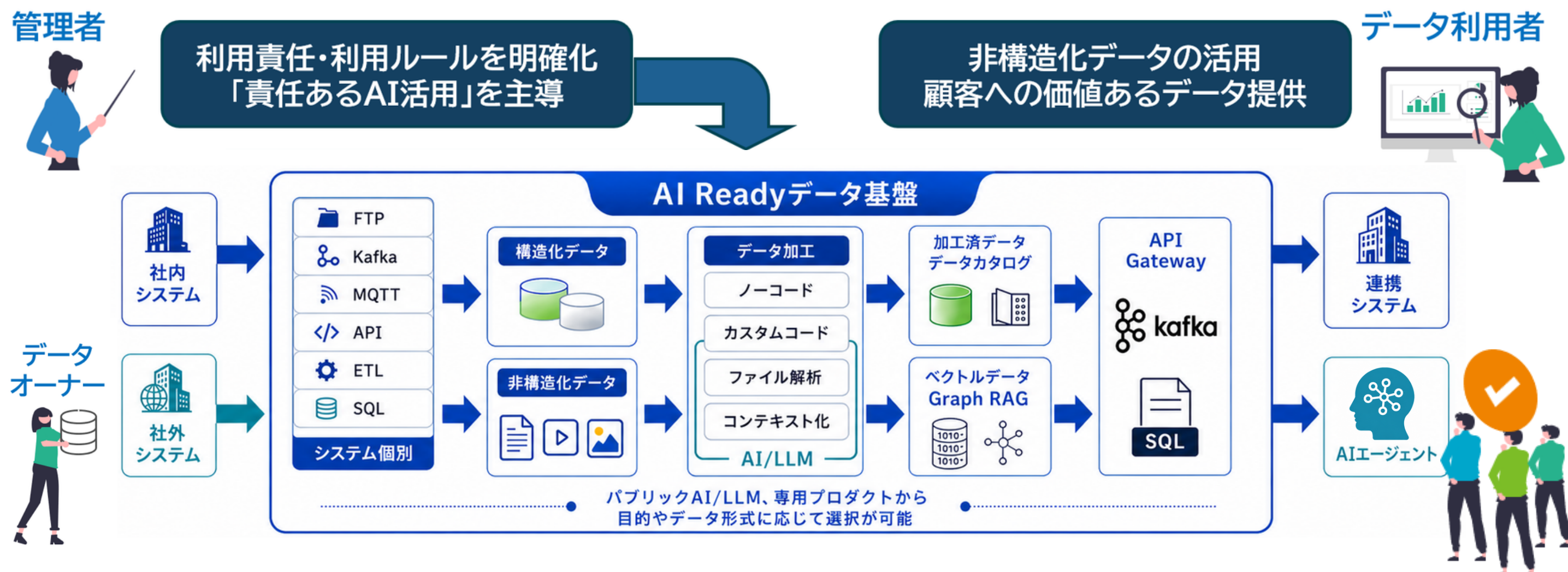


AI Readyデータ基盤 サービス利用イメージは裏面へ➡

AIエージェントの活用を前提とした、 データ活用の飛躍的進化を支える『AI Readyデータ基盤』

ご利用イメージ

AIエージェントはもちろん、既存システムやBIも含めた、データ活用の民主化を目指すことが可能です。



導入効果

①データ分析の自律化

リアルタイムの業務データと蓄積された分析データの統合により、AIエージェントは常に最新の状況を認知し、自律的な分析が可能に。利用者は鮮度の高いデータや分析結果に基づく意思決定が可能になります。

②非構造化データの活用

構造化データと非構造化データを組み合わせた分析が可能に。例えば業務データと関連ドキュメント、現場映像を組合わせた業務リスク分析など、マルチモーダルな分析が可能です。

③責任あるAI活用の実現

DSPM（データセキュリティ態勢管理）を導入し、AIの活動リスクを徹底管理。AIが常に安全・公正に動作することを保証し、責任あるAI活用を実現します。

④データ活用文化の醸成

社内外の価値あるデータが統合、活用できるようになるため、全社的なデータ活用の文化醸成が可能に。ビジネスの成長に合わせてスケールする組織への進化が期待できます。